

SHINCHU

2017
No.547

新地 1

広報

復興へ
急上昇中!!



時代の変化をとらえ 町民の生活向上へ

新地町長

加藤 憲郎



明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、平成29年の輝かしい新春を健やかにお迎えのことと、お慶び申し上げます。

さて、甚大な被害をもたらした東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故から、早いもので5年9カ月が経過しました。

これまで多くの町民の皆様をはじめ、各自治体および各企業等の皆様からご支援とご協力をいただき、復興事業を進めて参ることができました。あらためまして、心より感謝を申し上げます。

先月10日に、待ち望んだJR常磐線（相馬―浜吉田駅間）が再開通しました。当日は、多くの町民の皆様、さらには安倍首相をはじめとした来賓を迎え、賑やかに運転再開の記念式典を開催できたことで復興が確実に進んでいることを実感し、大変感慨深いものがありました。

町は将来の展望と方向性を示す「新地町第5次総合計画後期基本計画」及び「新地町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口8,700人を目標に昨年4月から取り組んでおり、JR常磐線の運転再開を新しい「しんち」をつくるスタートにしたいと考え

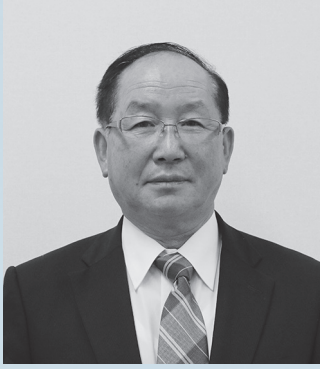
ております。

常磐自動車道も全線開通、そしてJR常磐線も仙台圏とつながったことで通勤・通学の利便性が著しく向上することはもとより、交流人口の拡大に寄与するものと期待されています。その、新地駅を中心として周辺には、ホテル、温浴施設、交流センターなどを整備して参りますが、駅がにぎやかで、活気に満ちあふれた魅力ある玄関口となり、「住んでみたい、住み続けたい」と感じられるまちづくりを目指します。

また、町民生活向上の要となる教育、福祉、生活環境整備などの施策についても停滞することなく取り組み、時代の変化を的確にとらえ、町民の皆様との対話を大切にして開かれた町政に行政の責任者として総力を注いで参ります。

震災からこれまで、復興・再生に向けて実地に前進していますが、今後とも町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、町民の皆様にとりまして新しい年が健やかで幸多い年となりますよう心よりお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。



新地町議会議長

菊地 正文

復興推進と細やかな 行政を着実に

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、希望に満ちた新春を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

本町では、各種の復興事業が計画的に進められ、新地駅周辺の市街地整備事業では、新たな町の拠点として、宿泊施設、温浴施設、交流センターなどの計画が進行しています。また、相馬港4号埠頭では天然ガス（LNG）の受入れ基地建設計画も進められ、復興と産業振興への期待がさらに高まっています。

そうした中、昨年12月10日にはJR常磐線（相馬―浜吉田間）が運転を再開し、新しく整備された新地駅では、多くの町民が手旗を振って5年9カ月ぶりの列車を出迎えました。新しい町づくりに希望と活力を与えてくれる素晴らしい出来事であり、町民の心の復興に、大きく寄与するものであると感じています。

さて、第5次総合計画の後期基本計画が、昨年4月にスタートしました。4年後の平成

32年の目標人口は8,700人で、計画策定時より約480人増やすとしています。人口減少社会において、この目標を達成することは並大抵のことではありません。しかし、新地駅周辺の整備を始めとする復興事業を確実に進め、相馬港周辺で進むLNGや石炭などのエネルギー関連産業や今年3月までに一部開通が見込まれる相馬福島道路と常磐自動車道の波及効果を新しい町づくりに取り込み、そして子育て支援の充実、多様な住まいの提供、地域連携道路の整備など、生活に密着する細やかな行政を着実に進めて行けば、結果はついてくると考えます。

議会といたしましては、海・里・山の恵まれた資源を活かしつつ、将来に希望と誇りが持てる新たな町づくりに向けて、今年も、議員一丸となり、町づくりに参画してまいります。今年も変わらぬご支援をお願い申し上げます。

12月10日

常磐線運転再開

5年9か月ぶりに新地へ



JR常磐線(相馬—浜吉田間)が12月10日、電車の運行が再開し、乗客を乗せた列車が5年9か月ぶりに新地町を走り出しました。

同日、新地駅では記念式典が開かれ、加藤憲郎町長が主催者あいさつ、安倍晋三首相、内堀雅雄知事、富田哲郎JR東日本社長、菊地正文議会議員が来賓祝辞を述べ、関係者らによるテープカットとくす玉割りで再開通を祝いました。

会場には約2,000人が訪れ、駅を出発する列車に手旗を振って見送った他、商工会青年部による豚汁の振る舞いや新地高校生によるワッフルやコーヒーなどの配布も行われました。

また、アトラクションとして尚英中の吹奏楽部の演奏や、やよさこいクラブ、高田神楽保存会による演舞でJR常磐線運転再開に華を添えました。

主催者あいさつ



加藤 憲郎 新地町長

関係者の皆さまのご協力により予定よりも早く、この再開通を迎えることができました。駅前の計画も進んでおり、平成30年春頃には新地駅前には賑わいがある活気に満ちた駅前になってくると思っております。

富田 哲郎 東日本旅客鉄道株式会社 代表取締役社長

常磐線が5年9か月ぶりに運行の再開を迎えることができました。本日多くの方が集まり、新地駅で再開のお祝いをしていただきましてありがとうございます。相馬や仙台との交流が更に拡大して、地域が元気になっていくことを心待ちにしています。

菊地 正文 新地町議会議員

JR常磐線の再開通は生活交通の復旧にとどまらず、新しいまちづくりに希望と活力を与えてくれるすばらしい出来事です。新地駅・駒ヶ嶺駅共に将来にわたってみんなに愛される駅となることをご期待申し上げます。

安倍 晋三 内閣総理大臣

東日本大震災から5年9か月、新地町の復興のシンボルが完成しました。運転再開までの関係者の皆様のご努力に敬意を表したいと思います。この駅と共に町がみごとに復興し、たくさんの皆さんがこの駅を通して新地町を訪れることを祈念いたします。

内堀 雅雄 福島県知事

JR常磐線は浜通りの住民の生活、産業や観光を支える交通基盤として重要な役割を担っています。本日、こうして再開通を迎えられましたことは本当に喜びにたえません。福島県と宮城県、そして東北全体の復興が更に加速することを期待しています。

来賓祝辞

切符・定期券は新地駅で

購入しましょう！！

切符・定期券は新地駅で購入できます。ぜひ、ご利用ください。



1 手旗を振り運転が再開した列車を見送る地域住民(駒ヶ嶺駅) 2 式典のオープニングを務めた尚英中吹奏楽部 3 4 アトラクションで式典を盛り上げた尚英中よさこいクラブと高田神楽保存会の皆さん 5 復興フラッグにサインした安倍首相



J R 常磐線再開記念イベント

室屋氏によるエアショーや 駅前を彩ったイルミネーション

11日にはJR常磐線再開記念イベントとして新地駅前広場で様々な催しが行われました。

相双地方観光DC推進委員会・相双地方振興局主催で行われた「未来に羽ばたけ！心のつながり」では、チームキビタンパフォーマンズや新地小学校など、各種ステージショーや物産品の販売が行われた他、観光列車フルーティア号お見送りや室屋義秀氏によるエアショーも行われました。

夜にはNPO法人みらいと主催によりキャンドルライト・イルミネーションが行われ真新しい新地駅に彩りを加えました。



1 エアショーで手を振る観客 2 ステージでダンスを披露した新地小3年生 3 新地町を通過したフルーティア号 4 新地駅を彩ったキャンドルイルミネーション



除雪作業にご協力ください

今年も冬の季節が到来しました。除雪作業を安全かつスムーズに行うため、次のことにご協力をお願いします。

路上駐車があると除雪できません。

『路上駐車』は除雪作業の妨げになります。作業効率の低下や地域全体の迷惑となるので絶対にやめましょう。

除雪車に近寄らないようにしましょう

除雪車に巻き込まれると大事故になります。作業中の安全には十分配慮しますが、除雪車には近づかないようお願いします。

道路へ雪を出さないようにしましょう。

きれいに除雪した道路に雪を捨てると、凍結や不安定な走行、交通事故の原因となるので、絶対にやめましょう。

各ご家庭の入り口に残った雪は

みんなで除雪しましょう

除雪車が通った後、どうしても各ご家庭の入り口に雪が残ってしまいます。より多くの道路を速やかに除雪できるように、残った雪の除雪のご協力をお願いします。

皆さんのお車の冬装備は万全ですか？

浜通りは積雪の少ない地域ですが、冬季の積雪、凍結時に普通タイヤでの走行は大変危険であるだけでなく、道路交通法違反に該当します。冬用タイヤかチェーンを装着して走行しましょう。

◎問い合わせ

国道 6 号

磐城国道事務所原町維持出張所 (☎② 2 5 3 0)

国道 1 1 3 号・県道

福島県相双建設事務所 管理課 (☎⑥ 1 2 2 1)

新地町道

新地町役場建設課

(☎⑥ 2 1 1 4)



RESTORATION 復興応援隊 SUPPORT

新年あけましておめでとうございます。今年も復興応援隊をどうぞよろしくお願い致します。

先月は常磐線(相馬-浜吉田間)が再開通し、記念式典をはじめ、商工会青年部によるふるまいや新地高校生(しんち駅カフェ実行委員会)の駅カフェ、夜にはみらいとによるキャンドルやイルミネーションが光り輝き、駅前に新たな賑わいが生まれました。

さて、復興応援隊では、復興のあゆみや町を取り戻したい地域の大人たちの思いを、将来を担う子どもたちにも知ってもらいたいと思い、
新地高校1年生を対象に役場4階で沿岸部を眺めながら、震災や復興のお話をさせていただき

ました。その後はグループワークを実施し、生徒たちは講師として招いた地元の方々から震災当時のお話を聞くだけでなく、「もし自分が〇〇だったら、どういう復興支援ができるか」という難しいテーマについて一生懸命考えてくれました。柔軟な発想力を活かしたユニークなアイデアもたくさん出て、自分の未来を考える、貴重な一日になったのではないかと思います。生徒たちが大人になった時、新地町で、またはそれぞれの“まち”でどんな活躍を見せてくれるのかとても楽しみです。

私たち応援隊も高校生のパワーに負けず、新地町の未来のために復興のお手伝いをしていきたいと思っています！



復興支援員 佐々木めぐみ



新地の魅力・情報発信サイト
「新地町ノート」
(<http://shinchi-note.com/>)

事務所：新地町谷地小屋萩崎 74-1 支援員事務所
連絡先：(☎) 1 2 3 7
(fukkou@miraito.info)

SHINCHI 新地高校 HIGH SCHOOL

新地駅再開!! 駅カフェとキャンドルライトイルミネーション

12月10日、JR新地駅の再開を祝い本校生は、「駅カフェ」と「キャンドルライトイルミネーション」を新地駅で行いました。

駅カフェでは、無料でワッフルや飲み物を配布し、盛況に終わりました。生徒たちが放課後に試行錯誤を重ねたワッフルは、外側がサクサク、中はふわっとした食感で、配布した人々からは「とてもおいしいね。」と言葉をもらっていました。駅カフェを行った生徒の島美咲さんは「地域の人と繋がるきっかけになり、間近で笑顔が見れて良かった。」という感想を述べていました。

キャンドルライトイルミネーションでは、本校生徒が駅周辺にイルミネーション用の電灯と手作りのキャンドルを設置し、17時頃に電灯の点灯に合わせ、キャンドルに火を灯しました。キャンドルの炎は幻想的で、優しい雰囲気が夜の新地駅に漂っていました。キャンドルイルミネーション担当の生徒は「キャンドルの灯りに希望と未来が詰まっていた新地町の将来を明るく照らしてくれるような温かな光でした。」と感想を述べていました。





まちの話題

交通安全を呼びかけ

交通事故防止県民総ぐるみ運動

年末年始の地域安全運動・交通事故防止県民総ぐるみ運動出動式が12月9日、農村環境改善センターで行われ関係者ら約100名が参加しました。

式では、相馬地区防犯指導隊中津川義光隊長が出動報告を述べた後、参加者は車両パレード等啓発活動を行いました。また、コンビニエンスストアや郵便局で啓発資料を配付し、防犯強化・交通安全を呼びかけました。

出動式に先立ち、町交通安全表彰式が行われました。受賞者は次のとおりです。

町長・町交通対策協議会長連盟表彰

- ◇交通安全功労者
三国 清一さん
- ◇交通安全功労団体
有限会社 猪狩組・駒ヶ嶺小学校



介護予防について報告

介護予防大会

「みんなで取り組む介護予防」をテーマに、いきいき介護予防大会は11月30日、農村環境改善センターで開催しました。

立命館大学の早川岳人教授と理学療法士の渡部浩之先生をお招きした講演会や町内で「いきいき百歳体操」に取り組んでいる自主グループ代表の皆さんから活動報告がありました。

活動報告では、「毎週みんな集まって体操するのが楽しみ。」「体操の後でお茶飲みや、来年のいきいき大運動会の練習をしています。」などの報告がありました。



親子たいそう リズムに合わせて3B体操

親子たいそう

児童館のたんぽぽひろばでは11月30日、3B体操講師石黒礼子先生による「親子たいそう」を行いました。テンポが速いリズムカルな音楽に合わせて体を動かし、育児に忙しいお母さん方は体を動かす機会がなかなかないのでとても楽しむことが出来たようです。

「田んぼの学校」収穫祭 からの恵みを地域住民へ振る舞う

駒ヶ嶺小学校の「田んぼの学校」収穫祭が12月2日、これまで講師を務めた地域住民や相双建設事務所職員などお世話になった方々を招いて行われました。

児童はお餅やおにぎり、クッキーを作って振る舞うとともに、田んぼからの恵みを味わいました。



町 株式会社A D E K A の教育振興へ寄付

株式会社A D E K A相馬工場と株式会社A D E K A労働組合相馬分会から12月9日、町へ寄付をいただきました。

吉永雄一郎工場長、田母神誠相馬分会長が町役場を訪れ、寄付金を加藤町長に手渡しました。

寄付金は教育振興に充てられます。



ま 復興まちづくり懇談会 ちづくりについて懇談

平成28年度復興まちづくり懇談会が12月16日、農村環境改善センターで開かれました。

町と町民のみなさんが、町政などについて意見を交わすことを目的に毎年行っているものです。

懇談会には約100人が参加し、復興事業などの説明の後、これからのまちづくりなどについて懇談を行いました。

選 スポーツ激励金交付式 選手の活躍に期待

町では、各種大会出場する個人・団体に文化スポーツ激励金を交付し、大会での健闘を祈りました。12月1日に行われたスポーツ激励金の交付を受けた団体・個人は次の通りです。

- 新地サッカースポーツ少年団
【第9回全農杯チビリンピック】
- 尚英ガッツJVC
【第39回福島県小学生バレーボール選手権大会】
- 佐藤準也選手・志賀大陸選手・菅野彪真選手（新地ファイターズ）
八巻琉夢選手・前田陸選手（駒ヶ嶺バッファローズ）
【第19回諸羅山盃軟式少年国際棒球（野球）大会】
- 森謙志郎選手
【第30回全国都道府県対抗中学バレーボール大会】



大会報告

第39回福島県小学生バレーボール選手権大会で準優勝した尚英ガッツJVCが12月15日、大会報告に町役場を訪れました。



図書館へ行こう

Let's go to Library

=新着本・CD・DVDのご案内=

1月の読み聞かせ会

日時 1/21(土) 11時～

図書館ボランティア「スイミー」のみなさんによる絵本の読み聞かせなどを行います。

いけばな展

日時 1/28(土)～29(日)

生涯学習フェスティバル中で、新地町華道教授会や生け花教室受講生の作品を展示します。

◎一般書

『ここで負けてしまっただめんな／

甲子園だけが高校野球ではない』 岩崎 夏海



日本全国で本当にあった、泣ける高校野球ストーリー。専用グラウンドをなくし、後輩も入らないまま試行錯誤する。いなくなったお母さんに会うために野球を続ける…。野球雑誌の記者が取材で集めた18の実話を収録する。

『笑って、泣いて、考えて。／永六輔の尽きない話』

永六輔



黒柳徹子に「ごめんね」事件、坂本九との大げんか、テレビを作ってきた責任…。さだまさしが聞き手となり、永六輔の「好奇心」「行動力」「人脈」「仕事」の秘密に迫った対談集。

『水槽の中の女』 勝目 梓

『人生の流儀』

『東北の怖い話』

『翻訳できない世界のことば』

『心を震わせるドラマチック写真術』

『いっさいはん』

『一〇〇年前の世界一周』

『定年一年生の教科書 定年後も働く！

勝ち組アルバイト』

『農の福祉力で地域が輝く』

《展示コーナー》

季節の行事展 『成人の日』

1月5日(木)～29日(日)

人生・生き方など、二十歳を迎えた方や大人に読んで欲しい本を集めました。

『年間ベストセラー』

1月7日(土)～2月5日(日)

2016年に人気のあった本を展示・貸出します。

図書館カレンダー（1月）

日	月	火	水	木	金	土
				5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	2/1	2	3	4

■は休館日



スマートフォン用
QRコード

◎児童書

『ヨーレのクマー』

宮部 みゆき



クマーは透明なかいじゅうです。悪いかいじゅうからヨーレの街を守っていましたが、ある日大切な角が折れてしまい…。「クマー」をめぐる、やさしく悲しい物語。宮部みゆき「悲嘆の門」幻の作中作を絵本化。

『フラダン』

古内 一絵



女子率100%のフラダンス愛好会“アーヌエヌエ・オハナ”に集められた4人の男子高校生。その目的は男女混合によるフラガールズ甲子園出場だった！震災から5年後の福島を舞台に描くとびきりの笑顔と涙の青春ストーリー。

『小学校の生活』

はまの ゆか

『ふくはなにからできてるの？』

佐藤 哲也

『大坂城 / 絵で見る日本の城づくり』

青山 邦彦

『オレさすらいの転校生』

吉野 万理子

『円周率の謎を追う /

江戸の天才数学者・関孝和の挑戦』

『世界の選挙をのぞいてみよう』

『ざんねんないきもの事典』

『保健室の恋バナ + α』

●CD

『ケツノポリス10』

ケツメイシ

『Are You Happy?』

嵐

『宇宙図書館』

松任谷 由実

『超 あいことば』

山猿

『THE BLUE HEARTS 30th ANNIVERSARY ALL TIME MEMORIALS ～ SUPER SELECTED SONGS』(Disc I・II・III) THE BLUE HEARTS

『スポーツテーマ集 オリンピック・マーチ』



寒さに負けない体を

つくろう！

寒さが一段と身に染みる季節です。白い息を吐きながら子どもたちは所庭で正月ならではの凧あげを楽しんでいます。「もつと高く飛んでいけー！」「今日も凧あげしたい！」と大はしゃぎです。子どもたちは外遊びが大好きで、かけ足の曲に合わせ所庭でミニマラソンも行っています。保育所では暖かい日を逃さず散歩に出かけ冬の自然を感じながら歩行力を高めます。友だちと一緒に歩くと楽しみを味わいながら体を温めて健康な体作りを目指しています。



手洗い・うがいで

予防しよう！

これからは、胃腸炎やインフルエンザなどの感染症が流行る時期です。

保育所では、ていねいな手洗い、うがいの習慣が身に付くようにしています。爪の先や指の間まで汚れやばい菌を落とすために水を止めて、ていねいに手洗いをしています。水道のところには、手洗いの仕方についての張り紙があり意識しながら取り組めるようになっています。手洗いの後は、共有を避けるために自分のタオルで拭き消毒をして仕上げをします。赤ちゃんの時から年齢に合わせて取り組んでいるので3歳の頃には習慣になっていきスムーズに出来るようになります。

注意するポイント

- 外出後は手洗い、うがいをていねいにする。
- 早寝早起きをする。
- 3食きちんと食事をする。
- 外で元気に遊ぶ。
- 汗をかいたら着替えをする。
- 適度に換気をする。



エチケットを守ろう！

風邪の症状が見られた場合は、早めに受診し医師の指示通り休養することが大切です。セキや鼻水、くしゃみによる飛沫感染を防ぐためにマスクを着用しましょう。自分の健康だけでなく周りへのエチケットも忘れずに。

母と子の健康

健康診査	対象者	日時 (受付時間)
母子手帳交付	妊娠とわかったら、なるべく早く母子手帳の交付を受けましょう	1月20日(金) 2月3日(金) 9:00~10:00
3か月児健診	28年8月19日~10月18日生	1月18日(水) 12:30~12:45
10か月児・1歳児健診	28年4・5月生 27年12月・28年1月生	2月6日(月) 13:00~13:15
1歳6か月児健診	27年5月~7月生	2月13日(月) 13:00~13:15

◎問い合わせ 保健センター (☎2096)
※乳幼児健診の際には、『母子手帳』『バスタオル』『問診票』を持参してください。当日体調が悪い場合や、都合の悪い方は、保健センターにご連絡ください。

たんぽぽひろば

期日	内容	場所
1月25日(水)	楽しいペープサート	児童館
2月1日(水)	鬼のお面作りと「豆まき」	児童館

◎問い合わせ 児童館 (☎4432)

1月

- 新地保育所 20日 育児相談
- 駒ヶ嶺保育所 20日 育児相談
- 福田保育所 17日 たこあげ会
- 20日 育児相談
- 各保育所 18日 新入所児健康診断

子どものつぶやき

お家での出来事を嬉しそうに話す5歳児Sくん
Sくん「僕、リーゼントのために弾けるようになったよ！」
保育士「リーゼント? あゝエリーゼのためにことだね！」

暮らしの情報



てください)

・祖父母が昼間家庭にいるが、介護認定(1~5)および障がい認定を受け、その配偶者が介護・障がい認定者の日常介護に従事している場合(介護保険被保険者証および障がい者手帳のコピーを添付してください)

※同じ条件の申込が多数の場合、自宅までの距離を判定材料とします。

費用

おやつ代 月2,000円

保険料 年2,000円

申込方法 役場町民課、福田児童クラブ(勤労青少年ホーム内)、新地児童クラブ(児童館内)、駒ヶ嶺児童クラブ(駒ヶ嶺小学校特別教室棟内)にある申込用紙に必要事項を記入のうえ、お申し込みください。

申込期限 1月27日(金)(厳守)

その他

審査では、住民票登録上の世帯分離や同一敷地内の別棟居住の場合は、同一世帯

平成29年度
児童クラブ
利用児童の登録
申込受付

福田・新地・駒ヶ嶺の各児童クラブでは、平成29年度児童クラブ利用児童の新規・継続登録の申し込みを次のとおり受け付けます。

対象児童
町内の小学校1~6年生
(平成29年度)

登録要件
・留守家庭で保護者等が就労により昼間家庭にいない児童(就労証明書を添付し

と判定します。

就労証明書については同一世帯分が必要になります。

◎問い合わせ

町民課(☎②2116)

介護職員初任者 研修講座

町では、介護事業所のスタッフ不足を解消し介護サービスの充実を図るために、介護職員の資格を取得できる介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級相

場) 特別養護老人ホーム

なごみの里福田(福島県相馬郡新地町大字福田字清水

175番地)

当) 講座を開催します。

募集対象者

①当町の介護サービス事業所等に勤務することを希望する方

②18歳~60歳までの方

募集定員 10名(先着順)

募集期限 1月13日(金)まで

日時 平成29年1月16日(月)

より開始。詳細については、

問い合わせ先までご連絡ください。

健康福祉課(☎②2931)

健康福祉課(☎②2931)

健康福祉課(☎②2931)

健康福祉課(☎②2931)

健康福祉課(☎②2931)

町内の空間線量率調査結果

町では、町内24か所で放射線量の独自調査を行いました。12月20日の測定結果は次のとおりです。

(μ Sv/h)

	測定場所	地表面	測定値
1	福田小学校	土	0.05
2	福田保育所	土	0.03
3	木崎公会堂	土	0.12
4	新地北工業団地	砂利	0.12
5	鈴宇峠県境	砂利	0.15
6	沢口ふれあい広場	芝	0.09
7	狼沢集会所	土	0.14
8	新地小学校	土	0.05
9	尚英中学校	土	0.06
10	新地保育所	土	0.06
11	鹿狼山登山口駐車場	砂利	0.16
12	今泉農集排処理場	砂利	0.07
13	総合公園こどもの森	芝	0.08
14	新地浄化センター	芝	0.12
15	岡公会堂	舗装	0.08
16	杉目集会所	舗装	0.07
17	大戸緑地広場	舗装	0.08
18	新地町役場	舗装	0.07
19	菅谷公会堂	土	0.14
20	駒ヶ嶺小学校	土	0.05
21	駒ヶ嶺保育所	土	0.04
22	大沢北国道113号県境	砂利	0.11
23	藤崎公会堂	砂利	0.09
24	富倉公会堂	舗装	0.08

※測定は月1回、地上1m
(3保育所は50cmの高さ)

平成29年度町内3保育所
新規入所児の
入所説明会・健康診断

中会議室
◎問い合わせ
東北税理士会
(☎024-534-3907)

平成29年4月から新たに
保育所に入所する方の入所
説明会と、健康診断を次の
とおり実施します。

日時 1月18日(水)

13時～(12時45分受付)

場所 新地保育所

◎問い合わせ

町民課 (☎02116)

税理士による 無料税務相談会

原発事故被災者及び平成
28年中に住宅を取得(増改
築を含む)し、確定申告で
住宅借入金等特別控除を受
ける予定の方のための「無
料税務相談会」を次のとお
り開催します。

開催日 1月21日(土)・28日(土)

時間 10時～16時

最終受付15時

場所 南相馬市中央図書館

公開講座 相続登記の必要性

不動産の相続登記がされ
ないまま放置されること
で、所有者不明の土地や建
物が増加し、災害復興やま
ちづくりのための公共事業
が阻害されているという問
題が発生しています。

法務局では、相続登記の
必要性・重要性を皆さんに
知ってもらうために公開講
座を開催します。

日時 1月25日(水)

13時～15時

場所 福島地方法務局相馬

支局 2階会議室

定員 25名(先着順)

※申込には予約が必要にな
ります。

◎予約・問い合わせ

福島地方法務局相馬支局

(☎0363413)

社会福祉協議会
『法律無料相談所』を
ご利用ください

生計、相続、借金、震災
関連等お悩みをお持ちの方
は、専門弁護士に相談して
みませんか。

相談を希望する方は1月
18日(水)まで、お申し込みく
ださい。

日時 1月20日(金)13時～15時

会場 保健センター内

担当弁護士

原町ひまわり基金法律事務所

樋口雄一弁護士

※担当弁護士が変更になる
場合があります。

◎申込・問い合わせ

町社会福祉協議会

(☎024213)

わくわくランド イベント情報

わくわく！ドキドキ！

工作教室

開催日時 1月22日(日)

10時30分～11時30分
13時30分～14時30分
※大雪などで臨時休館にな
る場合は、予告なく29日(日)
に延期になります。

開催場所

わくわくランド多目的ホール

内容 お湯につけると柔ら

かくなるプラスチック粘

土「おゆるくん」を使用

してキーホルダーを作りま

す。

定員 各回先着30名(計60名)

参加対象

5歳～小学生までのお子様

※保護者の方はお子様にお

付き添いください。

参加料 無料

募集方法 当日受付

※各回30分前に受付を開始
し、定員になり次第締切と
します。

※1回の申し込みにつき3

名までの受付になります。

※受付時にいただいた個人

情報は厳正かつ適正に管理

し、本イベント以外の目的

には使用しません。

◎問い合わせ

相馬共同火力発電株式会社

新地発電所 わくわくラン

ド (☎024722)

県内住宅火災多発中

本格的な冬を迎え、暖房器具の使用機会
が増えることから、住宅火災の発生が危惧
されます。火災を未然に防ぎ、大切な命を
守るため3つの習慣と4つの対策を徹底し
ましょう。

・3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた
位置で使用する。
- ガスコンロなどのそばを離れるときは、
必ず火を消す。

・4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報
器を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防
ぐために、防災品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用
消化器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るため
に、隣近所の協力体制をつくる。

◎問い合わせ 相馬消防署新地分署 (☎02117)

新成人のみなさんへ

20歳になったら国民年金

国民年金は、年をとったときやいざというときの生活を、現役世代みんなで支えようという考え方で作られた仕組みです。

具体的には、若いときに公的年金に加入し、保険料を納め続けることで、年をとったときや、病気やケガで障害が残ったとき、家族の働き手が亡くなったときに、年金を受け取ることができる制度です。

国民年金のポイント

将来の大きな支えになります

国民年金は20歳から60歳までの人が加入し、保険料を納める制度です。

国が責任をもって運営するため、年金の給付は生涯にわたって保障されます。

老後のためだけのものではありません

国民年金には、年をとったときの老齢年金のほか、障害年金や遺族年金もあります。

障害年金は、病気や事故で障害が残ったときに受け取れます。また、遺族年金は、加入者が死亡した場合、その加入者により生計を維持されていた遺族（「子のある配偶者」や「子」）が受け取れます。

「学生納付特例制度」と「若年者納付猶予制度」

「学生納付特例制度」

学生の方は一般的に所得が少ないため、ご本人の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

対象となる学生は、学校教育法に規定する大学（大学院）、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校および各種学校（修業年限1年以上である課程）、一部の海外大学の日本分校に在学する方です。

「若年者納付猶予制度」

学生でない50歳未満の方で、ご本人および配偶者の所得が一定額以下の場合に、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

◎問い合わせ 相馬年金事務所国民年金課（☎³⁶5 1 7 2）
健康福祉課（☎⁶²2 9 3 1）

誕生おめでとう

(平成 28 年 11 月 21 日～平成 28 年 12 月 20 日)

(子ども)	(親)	(地 区)
麻里 いお 衣織 果蓮 ひま 陽真莉	鎌田 博邦・章子 加藤 裕也・ちえみ 野田 茂樹・由香理	深 町 杉 目 小 川
彩蘭 たけ 毅 琉	佐藤 尚也・千穂 大塚 知也・友香	城 内 小 川

掲載を希望しない方は、届出のときにお申し出ください。

ご冥福をお祈りします

(平成 28 年 11 月 21 日～平成 28 年 12 月 20 日)

(名前)	(年齢)	(地区)
穴戸 浩	92 歳	新地町
本田 好信	94 歳	大山田
八巻 サタ子	92 歳	菅 谷
齋藤 鐵山	81 歳	菅 谷
杉目 恵美子	63 歳	杉 目
加藤 晃文	71 歳	杉 目
荒川 キヨ	90 歳	小 川
佐藤 きよみ	95 歳	小 川
竹澤 セツ子	87 歳	高 田
遠藤 新平	89 歳	鉄炮町
矢野 たまよ	68 歳	新 町
鈴木 龍男	90 歳	下真弓
横山 シウ	86 歳	小 川

掲載を希望しない方は、届出のときにお申し出ください。

今月の 納付

町県民税	4 期
国民健康保険税	7 期
介護保険料	6 期
後期高齢者医療保険料	6 期

1 月 31 日(火)までに納付、または引落口座残高の確認をお願いします。

◎問い合わせ 税務課 (☎② 2 1 1 9)
健康福祉課 (☎② 2 9 3 1)

人の動き

住民基本台帳

人口 /	8,052 人	(- 8)
男 /	3,994 人	(- 2)
女 /	4,058 人	(- 6)
世帯数 /	2,792 世帯	(+ 3)
12 月 1 日現在 ()	は前月比	

相馬都市計画 用途地域及び地区計画の変更についての 説明会を開催します

町では相馬都市計画区域臨港地区内(新地町)の用途地域の区分変更及び、新地駅周辺地区の地区計画の変更について次のとおり説明会を開催します。

日時 1 月 19 日(木) 19 時～

会場 新地町役場 正庁

◎問い合わせ

都市計画課 (☎② 2 1 1 3)

農地パトロール実施のお知らせ

町農業委員会では、年 1 月より農地法に基づく農地パトロールを実施します。

農地パトロールでは、農業委員が農地に立ち入りすることありますので、皆様のご協力をお願いします。

◎問い合わせ

新地町農業委員会事務局 (☎② 2 1 9 5)

町内空家状況を調査します

防犯、景観、環境衛生等で住環境を悪化させる特定空家の実態や、利活用可能な空家を把握することを目的に 1 月から 2 月にかけて、空家と思われる家屋の現地調査を行います。

期間中は、町から委託を受けた業者が空家調査のために町内を巡回します。調査は、道路上など一般に立ち入れる場所からの写真撮影及び目視調査となります。原則、私有地に立ち入ることはありません。また、調査員は町より交付された調査員証を首から下げて調査にあたります。調査へのご協力をお願いします。



調査期間 1 月～ 2 月頃 (9 時～ 16 時)

対象地域 新地町全域

調査業者 日本都市技術株式会社

◎問い合わせ 都市計画課 (☎② 2 1 1 3)

しんちまち生涯学習

フェスティバル

2017



1/28(土) 9時～16時・1/29(日) 9時～15時

農村環境改善センター・保健センター・図書館

生涯学習フェスティバルは、町で実施している各種教室のほか、公民館・勤労青少年ホームを利用しているクラブ・団体、地域で活動している自主サークルなど、多くの団体が参加するイベントです。

みなさんが参加できる体験コーナーや手作り作品の販売もありますので、お誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください。

【スケジュール】

1月28日(土)

- ・学習発表
かんちゃん・どしんミニライブ（特別出演）
- ・各種教室・サークル等の作品展示（～29日）
- ・各種教室・生涯学習講座写真展（～29日）
- ・手作り作品販売（～29日）

1月29日(日)

- ・体験コーナー
- ・復興支援カフェ「かりんとう」
- ・各種教室・クラブ等の作品・写真展示
- ・お菓子配布



主 催 新地町生涯学習推進本部（事務局 新地公民館 ☎②2085）